

圧倒的多くの署名を集めることが再稼働させない力！



2017年3月13日
しまね労連



現地調査をしている樋野伸一さんの報告

松江生協病院

樋野伸一さん



2012年から毎年福島を訪問し、自分の目で見たことを機関紙や地域の班会、民医連のいろんな場に出て

事実を伝えていることや、昨年訪問した浪江町や沿岸部の町など放射能が復旧を拒んでいる状況などを報告しました。そして、再稼働反対の署名について、生協の取り組みを紹介し、再稼働を絶対させない運動をみんなで広げていこうと呼びかけました。

原発は社会の仕組みと人権問題

福島から雲南市木次町に避難している坂本美緒さん



私たちは被害者ですがかわいそうな人ではありません。この6年間いろいろ勉強していくうちに、原子力発電は、エネルギーや環境の問題ではなくて、社会の仕組みや人権の問題であることがはっきり分かってきました。一度事故が起こると、今の仕組みのままだと

自分たちがどういう状況に置かれるのかということもよく分かってきた6年でした。防災のことは全国誰にも関わる問題です。でも声を上げていくのは、まずは立地に関わる足元の人を知っていくこと、そして、声をあげて動く力を付けていくことが大事だと思っています。全国に沢山の人が避難しています。いろんなところで繋がりあって、再稼働をさせないよう力を付けていこうと思っています。あってはならないもの、動かす必要のないものは、もうこのまま休んでもらいたいと思っています。みなさん、一緒に声をあげて、自分たちがつくっていききたい未来にむけてがんばっていきましょう。

島根原発エネルギー問題県民連絡会は、東日本大震災・福島原発事故から6年を迎えた3月11日、末次公園で「島根原発再稼働絶対止めよう県民集会」を開きました。

集会には500人が集まり、福島原発事故避難者からの挨拶や島根原発再稼働をめぐる現状報告など受け、県民の意思を署名で示す運動を進める新たな決起の場になりました。集会後は、デモ行進を行い、「再稼働NO」を大きくアピールしました。

県民の意思示すのは署名の数

島根大学名誉教授

保母武彦さん



原子力規制委員会の審査が続いています。その結果が出ると、地元として再稼働の結果について地元同意をするかどうかの問い合わせがきます。

ここが最も重要。しかし、同意について私たちの意見を聞く状況にはなっていません。県民の声を数にして多数派にするしかありません。島根原発の再稼働を止めるということを多数派の意見として示す必要があります。示す方法は署名です。今の署名を成功させ、その次には直接投票できる県民投票のようなことも考えなければなりません。みなさん、署名用紙を持ってさらに広げて圧倒的多くの署名を集めましょう。



【江津から参加】



【中電へ申し入れ】



【尾道からかけつけミニライブ】

集会宣言



【大田から参加】



東京電力福島第一原発の重大事故から6年目の今日、3月11日、私たちは、「フクシマを繰り返すな！」を合言葉に、「島根原発再稼働絶対止めよう!県民集会」を、松江市役所前で開催しました。

福島原発事故から6年経った今も、避難者は8万人、避難指示が解除された地域の帰還率はわずか13%にすぎません。子ども達は、放射能の被曝障害に不安を募らせています。事故を起こした原子炉の内部はメルトダウンしたまま、収束には程遠い状態です。

フクシマから私たちが学んだことは、私たちの世代と未来の子供たちの世代の生命と暮らしを守るためには、原発を止めるしかない、という教訓です。

島根原発の再稼働には、4つの大きな問題があります。

第一に、地震調査研究推進本部の発表によると、松江地方で、今後30年以内にマグニチュード(M)6・8以上の地震発生確率が40%です。さらに、最近のアジア情勢では、ミサイル攻撃の標的にされるリスクも高まっています。安全性が保障できない原発に依存すべきではありません。

第二に、高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉により、青森県の再処理工場に使用済核燃料を搬入する見通しが難しくなりました。使用済核燃料の処分の見通しなしに、原発の再稼働をすべきではありません。

第三に、島根県の広域避難計画は、住民の被ばくが前提であり、避難車両や運転手の見通しさえも立っていません。住民の安全を守れない避難計画のまま、見切り発車の再稼働は、許されるものではありません。

第四に、福島原発事故以降、全国で省エネが進み、再生可能エネルギーも増えています。原発が長期間停止していても、電力不足はありませんでした。そこには、原発を再稼働する理由は見当たりません。

福島原発災害で明らかになったように、原子力は人類が生み出した最悪の凶器であり、原発を安全に制御するなどといった、傲慢な思い上がりをなくさなければなりません。

「島根原発再稼働絶対止めよう!県民集会」に参加した私たちは、本集会の名において、次のことを宣言します。

- 一.今を生きるわたしたちのため、子どもたちの未来のために、危険極まりない島根原発の再稼働を、決して認めない。
- 一.島根県及び松江市をはじめとする地方自治体は、福島のような原発災害を二度と繰り返さないために、原発の再稼働を進めてはならない。
- 一.中国電力は、住民の幸せづくりに貢献するために、企業の倫理観を高め、原発のない安全で活気ある地域に協力すべきである。

2017年3月11日

フクシマを繰り返すな!! 島根原発再稼働絶対止めよう! 県民集会



